

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 山口土建

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別の禁止については、就業規則に明記し、社内に啓発ポスターの掲示も行っている。また、社長、専務取締役から日頃からその重要性を社員に伝えるとともに、何かあれば社長、専務取締役が相談窓口になるようにしている。特に県・各市町村行政とタイアップし、あらゆる不当な差別をさせない教育・啓発に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・元請け事業者が行う月1~2回の労働安全衛生研修に参加するようにしている。また、ヒヤリハットについて毎日の目標を定めて防止に努めている。さらに危険予知活動表を社内に掲示し意識啓発を図っている。			3				8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関係なく、同一労働に対しては同一賃金等の原則に基づき対応している。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・週40時間労働とし、残業はほとんどない状況にある。また社長からゴールデンウィークやお盆の週なども含め有給休暇の取得を奨励している。			3	5.5				8.5 8.8	10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・業務に必要な土木施工、建設機械のオペレーター、安全衛生、職長の教育など計画的な資格の取得、研修参加を奨励しており、必要経費は会社負担とするなど人材育成に努めている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生規則に基づき健康診断の受診を義務付け、経費は会社負担としている。また、現場ではラジオ体操を行うなど健康経営に努めている。			3					8							17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・保護観察所と連携し社員として活躍の場を提供したり、機械化を進め、誰もが十分に活躍できる環境整備に努めている。				4.4	5.1 5.5			8.5	10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●					3				8	9.1	11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●		・事務職にはPCを配布(15台)したり、土木工事の積算システムを導入するなど業務の正確性向上と効率化を図っている。							8	9.1	11	12						
21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●					3	4			8	9		12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 山口土建

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物等の処理は専門業者に委託して適切に処理している。また、築堤工事等で河川を汚染しないようにオイルフェンスや中和剤を準備し汚染予防に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・照明はLEDに転換し、こまめな消灯を行っている。また、省エネタイプの重機や車両の導入を進め、エネルギーの削減に努めている。 【予定】令和5年2月から簡易計算シートを活用しエネルギー使用量を把握し、その削減に努める。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・照明はLEDに転換し、こまめな消灯を行っている。また、省エネタイプの重機や車両の導入を進め、温室効果ガス排出抑制に努めている。 【予定】令和5年2月から簡易計算シートを活用し温室効果ガスの排出量を把握しその削減に努める。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・築堤工事等に当たっては、重機のオイルが河川に流出しないようオイルフェンスや中和剤を準備し、また濁水が流れないように沈砂池などを設置し生態系への配慮を行っている。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・残土処分場を管理しているが、受入残土の再利用のため土壌試験を行い、必要に応じて土壌改良剤を活用し再利用を進めている。また、再生用紙や裏紙を積極的に活用している。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・日頃から節水に努めるとともに、浄化槽を設置したり、西原村において水源涵養林でもある漁民の森づくりに取り組んでいる。		2.4				6.3 6.4 6.6 6.a						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙を積極的に活用するようにしている。											9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・西原村において水源涵養林でもある漁民の森づくりに取り組んでいる(植林、下草刈り、育成管理など)												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・省エネタイプの重機や車両の導入を進めエネルギー効率の改善に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・社長が緑川漁協の理事を兼ねており、西原村において漁民の森づくりに取り組んでいる(植林、下草刈り、育成管理など)						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・緑川の日(4月29日)に毎年、河川の廃棄物清掃活動に参加している。また、社内で使うコップをプラスチック製から紙製に変えるなどプラスチックの削減に取り組んでいる。													12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2

